

6. 教員活動報告

阿部 仁

講演

- (1) 「アウェー(海外)で活躍できる学生の育成:派遣留学者数増加に向けての展望と課題」、
経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援、第3回早稲田大学・同志社大学
共同SDワークショップ、国立大学法人留学生指導研究協議会、早稲田大学、2015.6

庵 功雄

著書

- (1) (清水佳子との共著)『上級日本語文法演習 時間を表す表現—テンス・アスペクト—』
スリーエーネットワーク、2016.3
- (2) 『留学生と中学生・高校生のための日本史入門—信長から安保法制まで—』晃洋書房、
2016.3

共編著

- (1) (山内博之との共編著)『現場に役立つ日本語教育研究1 データに基づく文法シラバス』くろしお出版、2015.5
- (2) (阿部二郎・佐藤琢三との共編著)『文法・談話研究と日本語教育の接点』くろしお出版、2015.6

特集編集

- (1) 「特集「やさしい日本語」の研究動向と日本語教育の新展開」『ことばと文字』4、pp.4-96、
くろしお出版、2015.10

論文

- (1) (張志剛との共著)「漢語サ変動詞に見る近代語と現代語」『日本語の研究』11-2、
pp.86-100、日本語学会、2015.4
- (2) 「日本語学的知見から見た初級シラバス」庵 功雄・山内博之編『現場に役立つ日本語教育研究1 データに基づく文法シラバス』、pp.1-14、くろしお出版、2015.5
- (3) 「日本語学的知見から見た中上級シラバス」庵 功雄・山内博之編『現場に役立つ日本語教育研究1 データに基づく文法シラバス』、pp.15-46、くろしお出版、2015.5
- (4) 「「産出のための文法」に関する一考察—「100%を目指さない文法」再考—」阿部二郎・庵 功雄・佐藤琢三編『文法・談話研究と日本語教育の接点』、pp.19-32、くろしお出版、2015.6
- (5) 「「やさしい日本語」研究が日本語母語話者にとって持つ意義—「やさしい日本語」は外国人のためだけのものではない—」『一橋大学国際教育センター紀要』6、pp.3-15、一橋大学、2015.7

6. 教員活動報告

- (6) 「中国語話者の母語の知識は日本語学習にどの程度役立つか—「的」を例に—」『漢日语言对比研究论丛』7、pp.165-173、漢日对比语言学研究会、2015.7
- (7) 「「やさしい日本語」研究の「これまで」と「これから」」『ことばと文字』4、pp.4-13、くろしお出版、2015.10
- (8) “What can the research on Japanese anaphoric demonstrative contribute to general linguistics?” *Hitotsubashi Journal Arts and Sciences*. 56-1、一橋大学、2015.12
- (9) 「外国人にとっての障壁としての漢字とその対策—日本語教育の立場から—」『要約筆記問題研究』27、pp.41-46、特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会、2016.3
- (10) “The enterprise of *Yasashii Nihongo*: For a sustainable multicultural society” 『人文・自然研究』10、pp.4-19、一橋大学、2016.3

学会発表

- (1) 「産出のための類義表現の記述—「100%を目指さない文法」再考—」『アジアにおける日本語教育のフロンティア予稿集』 pp.1-6、香港中文大学、2015.5
- (2) 「日本語言語学会第150回大会 公開シンポジウム 言語意識のずれからのアプローチ—東アジアにおけるボイス研究の一助として—」『日本語学会第150回大会予稿集』、pp.32-37、日本語学会、2015.6
- (3) 「近代語から現代語にかけての名詞修飾表現の変化に関する一考察—1 項名詞に前接する限定詞を例に—」『第8回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』、pp.199-204、国立国語研究所、2015.9
- (4) (岡典栄と共同発表)「ろう児に対する書記日本語教育に関する予備的考察—「9歳の壁」を越えるために—」『日本語教育学会2015年度秋季大会予稿集』 pp.182-187、日本語教育学会、2015.10
- (5) 「パネルセッション 現代から見た林言語学の魅力 日本語教育から見た『基本文型の研究』『文の姿勢の研究』」『日本語文法学会第16回大会発表予稿集』、pp.84-93、日本語文法学会、2015.11

講演

- (1) 「記述文法から見た日本語教育研究」北京日本学研究中心設立30周年記念国際シンポジウム「アジアにおける日本研究の可能性」、北京日本学研究中心、2015.10.25
- (2) 「「やさしい日本語」研究をめぐって」他言語社会を迎えて言葉の壁とどう向き合うか～留学生が事件・事故に遭遇したとき～、徳山大学、2015.11.1
- (3) 「新しい文法シラバスにもとづく新しい留学生日本語教育デザインの試み」2015年台湾日本語教育研究国際シンポジウム、東呉大学(台湾)、2015.11.28

研究プロジェクト

- (1) 平成 25 年度～28 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「やさしい日本語を用いた言語的少数者に対する言語保障の枠組み策定のための総合的研究」（研究代表者）
- (2) 平成 25 年度～27 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「日本語学習者の母語場面・接触場면을対象とした対話コーパスの構築と分析」（研究代表者：澤田浩子）（研究分担者）
- (3) 平成 26 年度～28 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査と Web 辞書の試作」（研究代表者：今村和宏）（研究分担者）

今村 和宏

学会発表

- (1) 「能動的なメディア・リテラシー」日本言語政策学会第 17 回大会、2015.6.7、椛山女学園大学（名古屋市）
- (2) 「社会科学専門文献における複合助詞の分野別使用特性」専門日本語教育学会第 18 回研究討論会、2016.3.4、京都産業大学

講演

- (1) “Pacifismo e democrazia in Giappone: prospettive per il XXI secolo”, Università Ca'Foscari Venezia, Italia, October 22, 2015
- (2) 『新・戦争のつくりかた』と安保法制 ～いま平和のためにできること～」、第 100 回南御堂ヒューマン・フォーラム、東本願寺南御堂、大阪市、2016.3.23

研究プロジェクト

- (1) 平成 26 年度～28 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査と Web 辞書の試作」（研究代表者）

太田 浩

著書

- (1) 「日中留学生交流—日本側からの分析—」『未来志向の関係構築における日中青年交流のあり方』、東アジア共同体評議会、pp.33-43、2015.7
- (2) (Coauthored with Ariane de Gayardon and Yukiko Shimmi) “Internationalization Over Time: Policy Evolution in Japan”, In R. M. Helms, L. E. Rumbley, L. Brajkovic & G. Mihut (Eds.), *Internationalizing Higher Education Worldwide: National Policies and Programs*, Washington DC: American Council of Education, pp.73-80, November, 2015.

6. 教員活動報告

論文

- (1) (Coauthored with Kiyomi Horiuchi) “Measuring the Accessibility of Study in Japan Utilizing International Admissions Procedures of English-taught Degree Programs,” *Higher Education Forum*, Vol. 13, Research Institute for Higher Education, Hiroshima University, pp.91-107, March, 2016.

報告

- (1) 『国内の海外留学手続き代行業者を利用した日本人海外留学生数に関する調査報告書』、平成 26 年度日本人海外留学生数に関する調査、日本学生支援機構、pp.1-44、2015.4
- (2) 「中国から日本への留学生の動向」『日中関係の深化と拡大に向けた民間交流のあり方—平成 26 年度日中研究交流支援事業報告書』、東アジア共同体評議会、pp.80-84、2015.4
- (3) (渡部由紀、新田功、野田文香、金性希、武田巧と共著)「大学国際化指標体系の構築」『デルファイ法による大学国際化指標体系の構築』、2014 年度明治大学新領域創成型研究、明治大学、pp.60-73、2015.6
- (4) 「“受け入れ” から “獲得” モデルへ：柔軟な入学選考が必要（留学生受け入れの将来像）」『向学新聞』267 号、国際留学生協会、p.3、2015.6
- (5) (横田雅弘、新見有紀子ほかと共著)『グローバル人材と留学の長期的インパクトに関する調査報告書（概要版）』、2013-2015 年度文部科学省科学研究費補助金（基盤研究 A）調査報告書、明治大学、pp.1-20、2016.3
- (6) (Coauthored with Masahiro Yokota, Yukiko Shimmi et al.) *Survey of Global Personnel Development and Long-term Impact of Study Abroad: Summary Report*, JSPS Grants-in-Aid for Scientific Research for Fiscal Year 2013-15, Meiji University, pp.1-20, March, 2016.
- (7) 「各国政府と国際機関における「外国人留学生」の定義とデータ収集の状況、並びに留学生数のカウントに関する提案」『留学生受入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015 年度文部科学省先導的・大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.50-64、2016.3

学会発表

- (1) “Changing Policies and New Trends of Internationalization in Japan”, p.48, NAFSA 2015 Annual Conference & Expo, Boston Conference and Exhibition Center, Boston, May 27, 2015.
- (2) “Bergé International Talent Programme in Spain: Hitotsubashi University”, p.52, NAFSA 2015 Annual Conference & Expo, Boston Conference and Exhibition Center, Boston, May 27, 2015.

- (3) (新見有紀子、横田雅弘、北村友人と共同発表)「グローバル人材育成と留学の長期的なインパクトに関する国際比較調査ー留学がその後のキャリアや人生に与える影響についてー」『2015年度異文化間教育学会第36回大会発表抄録』、p.186-187、異文化間教育学会、千葉大学、2015.6.6
- (4) (渡部由紀、新見有紀子、芦沢真五、黒田一雄と共同発表)「海外留学の長期的なインパクト：キャリア、能力・スキル、意識・行動、人生の満足度」『日本比較教育学会第51回大会発表要旨録』、p.49、日本比較教育学会、宇都宮大学、2015.6.13
- (5) 「日本の大学国際化に関する政策の比較検討ー日本の現状、課題、今後の展開：諸外国との比較を含めてー」『日本高等教育学会第18回大会発表要旨集録』、p. 238-239、日本高等教育学会、早稲田大学、2015.6.28
- (6) “Strategy for Promoting Outbound Student Mobility in Japan: Shifting MEXT’s Priorities”, The 18th Korean Association of International Educators (KAIE) Annual Conference, Lotte Hotel Jeju, Jeju Island, January 20, 2016.
- (7) (Co-presented with Shingo Ashizawa and Kazuo Kuroda) “Exploring Long-term Impact of Study Abroad and Fostering a Globally-minded Workforce”, pp.105-107, APAIE Conference & Exhibition 2016, Melbourne Convention and Exhibition Center, Melbourne, March 2, 2016.
- (8) (Co-presented with Paige Cottingham-Streater and Shingo Ashizawa) “Cultivating Diversity in U.S.-Japan Educational Partnerships”, pp.136-137, APAIE Conference & Exhibition 2016, Melbourne Convention and Exhibition Center, Melbourne, March 3, 2016.

シンポジウム

- (1) “International Students in Japan: Issues of Recruitment and Admissions”, International Recruitment and Admissions for English-Taught Degree Programs (Toyo University’s Top Global University Project Seminar Series 2015-16), Toyo University, Tokyo, October 2, 2015.
- (2) 「求められるグローバル人材の姿や福岡でのグローバル人材の活躍について」(コーディネーター)、Global Community Fukuoka、ホテルオークラ福岡、2015.10.18
- (3) “International Branch Campuses and Education Hubs in Korea and Japan”, Education Hubs in Asia and Potential of Japan (Toyo University’s Top Global University Project Seminar Series 2015-16), Toyo University, Tokyo, December 3, 2015.
- (4) “Recent Trends and Policies in International Student Mobility to and from Japan”, Student Mobility in the Asia Pacific Symposium, Universities Australia, Crown Hotel Melbourne, Melbourne, March 4, 2016.

6. 教員活動報告

講演

- (1) 「グローバル化と大学の国際化：国際教育の課題と国際戦略の構築」、グローバル教育に関する研究会、甲南大学、2015.4.2
- (2) “Japanese Higher Education and International Student Mobility: A Comparative Perspective”, Northeastern University: Politics and Culture in International and Comparative Perspectives (Learning Abroad), Meiji University, Tokyo, May 20, 2015.
- (3) 「日本の大学の留学生受入れにおけるリクルーティングとアドミSSIONの構造的問題」、優秀な中国人留学生受入を実現する為の実践セミナー、日中友好会館、2015.6.2
- (4) 「留学生リクルーティング、アドミSSION、エンロールメントマネジメントの課題<趣旨・背景説明>」、留学生リクルート・アドミSSION・エンロールメントマネジメントの将来像を考えるー米国の大学の事例から何を学ぶか？ー、東洋大学、2015.6.12
- (5) “Recent Trends and Policies in International Education in Japan”, Round Table Discussion/Open Dialogue: Issues and Perspectives on U.S.-Japan Educational Exchanges, Japan-U.S. Educational Commission, Tokyo, June 25, 2015.
- (6) “Higher Education Business in a Globalizing World”, Introduction to Global Studies (IGS200-1), Akita International University, Akita, July 2, 2015.
- (7) 「グローバル化と大学の国際化：課題の整理と戦略構築に向けた考え方」、トータル・グローバル化セッション：中期行動計画タスクフォース、同志社大学、2015.7.29
- (8) 「グローバル化と大学の国際化：課題の整理と展望」、大学の国際化の動向：一橋大学の現状と課題、如水会館、2015.9.8
- (9) “Recent Trends and Policies in International Education in Japan: Shifting from Inbound to Outbound”, Japan Market Briefing and Advice, British Council Japan, Tokyo, October 23, 2015.
- (10) 「大学の国際化ー現状総括ー」、第17回図書館総合展学術情報フォーラム、パシフィコ横浜第5会場（アネックスホール205）、2015.11.10
- (11) (新見有紀子、横田雅弘と共同発表)「海外留学の驚くべきインパクト」、Go Global Japan Expo 2015、明治大学駿河台キャンパス、2015.12.20
- (12) 「国際学生交流のための英語によるプログラムの開発：一橋大学HGPを事例として」、明治大学政治経済学研究科FD講演会、明治大学駿河台キャンパス、2016.1.19
- (13) 「グローバル化と大学の国際教育：世界と日本の比較的視点から考える」、JTB グローバル教育セミナー：子ども達の未来を考えるーグローバル教育の更なる進化に向けてー、大宮ソニックシティ、2016.3.25

研究プロジェクト

- (1) 平成 25 年度～27 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「グローバル人材育成と留学の長期的インパクトに関する国際比較研究」（研究代表者：横田雅弘）（研究分担者）
- (2) 日本学生支援機構「日本人海外留学生数に関する調査」（2014～15 年度）
- (3) 日本学生支援機構「留学生交流支援制度（短期受入れ・短期派遣）評価分析調査」（2014～15 年度）
- (4) 平成 27 年度～年 32 度科学研究費補助金（基盤研究（A））「アジアにおける「知識外交」と高等教育の国際化に関する実証的研究」（研究代表者：北村友人）（研究分担者）
- (5) 平成 27 年度～30 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「大学評価における指標デザインとその活用方法の開発」（研究代表者：山崎その）（研究分担者）
- (6) 平成 27 年度文部科学省先導の大学改革推進委託事業研究「留学生受入れ支援方策の検討に関する調査研究」（研究代表者：白石勝己）（研究分担者）
- (7) 広島県「広島県留学生・大学グローバル化研究会」（調査研究アドバイザー）（2013～15 年度）

太田 陽子

論文

- (1) （永谷直子・中石ゆうこ・高橋紗弥子と共著）「新しい日本語教材—文法—」『ことばと文字』4号、pp.64-72、くろしお出版、2015.10
- (2) （志村ゆかり・宮部真由美と共著）「外国にルーツを持つ生徒のための日本語教材」『ことばと文字』4号、pp.30-36、くろしお出版、2015.10

講演・シンポジウム

- (1) 日本女子大学学術交流・日本女子大学大学院文学研究科主催公開シンポジウム「知っていること」と「使えること」をつなぐ「文脈化」という視点—初級教科書の再検討—、日本女子大学、2015.12.26
- (2) 朝日カルチャーセンター日本語教育研修講座「初級日本語文法マスター「表現意図」から考える教え方」、朝日カルチャーセンター、2016.3.4、2016.3.11
- (3) 公開シンポジウム「コーパスから始まる例文づくり」「様子・予想・傾向を表す表現」、聖心女子大学、2016.3.21
- (4) 東京大学国際センター主催春季研修会「「文型発展練習 Further practice on Grammar」の理念と方法—創生期を振り返りながら」、東京大学国際センター、2016.3.24
- (5) 一橋日本語教育研究会「現場の課題と研究の往還」、一橋大学、2016.3.26

6. 教員活動報告

奇 春花

学会発表

- (1) 「異文化接触が生涯発達にあたえる影響」『異文化コミュニケーション学会第30回大会』p33、桜美林大学、2015.9

五味 政信

翻訳監修

- (1) 『みんなの日本語 中級Ⅱ 翻訳・文法解説 ベトナム語版』スリーエーネットワーク、2016.2

研究プロジェクト

- (1) 平成26年度～28年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)「社会科学系基礎文献における語彙の分野横断的包括分析調査とWeb辞書の試作」(研究代表者:今村和宏)(研究分担者)

新見 有紀子

著書

- (1) (Coauthored with Ariane de Gayardon and Hiroshi Ota) “Internationalization Over Time: Policy Evolution in Japan”, In R. M. Helms, L. E. Rumbley, L. Brajkovic & G. Mihut (Eds.), *Internationalizing Higher Education Worldwide: National Policies and Programs*, Washington DC: American Council of Education, pp.73-80, November, 2015.

論文

- (1) (Coauthored with Akiyoshi Yonezawa) “Japan’s “Top Global University” project”” *International Higher Education*, pp.27-28 2015.7

報告

- (1) (横田雅弘、太田浩ほかと共著)『グローバル人材と留学の長期的インパクトに関する調査報告書(概要版)』、2013-2015年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究A)調査報告書、明治大学、pp.1-20、2016.3
- (2) (Coauthored with Masahiro Yokota, Hiroshi Ota et al.) *Survey of Global Personnel Development and Long-term Impact of Study Abroad: Summary Report*, JSPS Grants-in-Aid for Scientific Research for Fiscal Year 2013-15, Meiji University, pp.1-20, March, 2016.
- (3) (秋庭裕子と共著)「行政事業レビュー」『留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015年度文部科学省先導的・大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.20-22、2016.3

- (4) 「留学生交流支援制度(H20-21)、留学生短期受入と日本人学生の海外派遣を一体とした交流事業 (H22-25) についての行政評価と事後評価」『留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.30-40、2016.3
- (5) 「産学連携による留学生向け実践的教育事業 (アジア人財資金構想) についての行政評価と事後評価」『留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.40-48、2016.3
- (6) (秋庭裕子と共著) 「行政事業レビュー」『留学生 30 万人計画に向けた事業評価について』、2015年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.48-49、2016.3
- (7) (渡部由紀と共著) 「フィリピンにおける大学進学、留学プロセスの分析」『留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.123-135、2016.3
- (8) (渡部由紀と共著) 「インドネシアにおける大学進学、留学プロセスの分析」『留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.136-147、2016.3
- (9) 「欧州域内における留学交流【Erasmus+】プロセス分析」『留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.156-165、2016.3

書評

- (1) 「Akiyoshi Yonezawa, Yuto Kitamura, Arthur Meeman, and Kazuo Kuroda (編) Emerging International Dimensions in East Asian Higher Education」『国際教育』、第 21 号、pp.106-110、日本国際教育学会、2015.9

学会発表

- (1) (太田浩、横田雅弘、北村友人と共同発表) 「グローバル人材育成と留学の長期的なインパクトに関する国際比較調査－留学がその後のキャリアや人生に与える影響について－」『2015年度異文化間教育学会第36回大会発表抄録』、p.186-187、異文化間教育学会、千葉大学、2015.6.6
- (2) (渡部由紀、太田浩、芦沢真五、黒田一雄と共同発表) 「海外留学の長期的なインパクト：キャリア、能力・スキル、意識・行動、人生の満足度」『日本比較教育学会第51回大会発表要旨録』、p.49、日本比較教育学会、宇都宮大学、2015.6.13
- (3) (秋庭裕子、芦沢真五、横田雅弘と共同発表) 「海外留学の長期的なインパクト調査：留学後のキャリアと人生に対する満足度に焦点を当てて」『留学生教育学会第20回年次大会』、日本電子専門学校、2015.8.29

6. 教員活動報告

- (4) 「日本人訪問研究者の米国大学における経験について」『日本国際教育学会第26回大会』、日本国際教育学会、相模女子大学、2015.9.12
- (5) (Co-presented with Yuki Watabe & Hiroko Akiba) “Exploring Long-term Impact of Japanese Study Abroad Experience: Undergraduate and Graduate Education,” Comparative & International Education Society Annual Conference, Vancouver, Canada, March, 2016.

講演

- (1) (太田浩、横田雅弘と共同発表)「海外留学の驚くべきインパクト」、Go Global Japan Expo 2015、明治大学駿河台キャンパス、2015.12.20

研究プロジェクト

- (1) 平成25年度～27年度科学研究費補助金(基盤研究(A))「グローバル人材育成と留学の長期的インパクトに関する国際比較研究」(研究代表者:横田雅弘)(研究分担者)
- (2) 平成27年度文部科学省先導的の大学改革推進委託事業研究「留学生受入れ支援方策の検討に関する調査研究」(研究代表者:白石勝己)(研究分担者)

西谷 まり

論文

- (1) Learning from failure in an MBA oral presentation course. *US-China Education Review*, Vol.6, No1, pp.45-52, 2016.1

学会発表

- (1) 「MBA コースにおける口頭表現指導 -失敗から学ぶ-」、日本教育工学会研究報告会報告集、JEST15-5、pp.177-184、2015.12.12

講演

- (1) 「留学生に日本語をどう教えるか」、江戸川大学情報文化学部、2015.10.17

研究プロジェクト

- (1) 平成27年度～29年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「失敗から学ぶ日越ビジネスコミュニケーション指導法の開発」(研究代表者)

二宮 理佳

論文

- (1) 「複数回口頭発表と自己内省活動の効果-自己調整学習理論からの分析-」、『一橋大学国際教育センター紀要』第6号(通巻18号)、pp.31-44、一橋大学、2015.7
- (2) (宮部真由美と共著)「新しい日本語教材-読解-」、『ことばと文字』第4号、pp.73-80、くろしお出版、2015.10

報告

- (1) 「文学作品を取り上げている中上級日本語教科書についての現状調査」(金山泰子と共著)、『ICU 日本語教育研究』11、pp.17-30、国際基督教大学日本語教育研究センター、2016.3

柳田 直美

著書

- (1) (森本郁代・水上悦雄と共著)「第1章 留学生と日本人学生が参加する話し合いに対する評価の観点とそれに影響を与える相互行為の分析」宇佐美洋編『評価を持って街に出よう』、pp.18-33、くろしお出版、2015
- (2) 「第4章 非母語話者は母語話者の「説明」をどのように評価するか—「やさしい日本語会話」の評価観点の抽出—」宇佐美洋編『評価を持って街に出よう』、pp.291-304、くろしお出版、2015
- (3) 「第3章 教育実践を「知」にむすぶ」神吉宇一編『日本語教育学のデザイン』、pp.55-76、凡人社、2015

論文

- (1) 「非母語話者は母語話者の「説明」をどのように評価するか—母語話者の「説明」に対する第三者評価の分析—」『一橋日本語教育研究』4号、pp.51-58、2016.3
- (2) (小林ミナ・藤井清美と共著)「会話教材におけるローマ字表記—英語／イタリア語の母語話者を事例として—」『早稲田日本語教育学』19号、pp.1-19、2015.12
- (3) (奥野由紀子・澁川晶と共著)「特集やさしい日本語の研究動向と日本語教育の新展開 新しい日本語教材—会話・聴解編—」『ことばと文字』4号、pp.81-88、くろしお出版、2015.10
- (4) 「特集やさしい日本語の研究動向と日本語教育の新展開 母語話者の「説明」に対する非母語話者の評価観点」『ことばと文字』4号、pp.46-54、くろしお出版、2015.10
- (5) 「日本語教育学の研究の進め方—指導経験・投稿経験から見えてくるもの—」『一橋大学留学生センター紀要』6号、pp.151-165、2015.7

口頭発表

- (1) 「外国人窓口対応に関する縦断調査—ふりかえり活動前後の変容の分析—」、2015年度日本語教育学会秋季大会(沖縄国際大学)、2015.10
- (2) “The Development of an Educational Program to Foster Discussion Abilities” in Panel “Analyzing the process of group discussion: Towards 'discussion design' in social decision-making”, 14th International Pragmatics Conference, Antwerp, Belgium, 2015.7

6. 教員活動報告

- (3) 「母語話者の「説明」に対する非母語話者の評価—中級学習者と上級学習者の比較—」、2015 年度日本語教育学会研究集会 第4回北海道地区（北海道教育大学函館校）、2015.7

講演

- (1) 公益財団法人栃木県国際交流協会・那須塩原市・那須塩原市国際交流協会主催「やさしい日本語セミナー」（西那須野公民館（栃木県那須塩原市））、2016.2.27
- (2) （宇佐美洋と共同）出版記念シンポジウム「『評価』を持って街に出よう—「教えたこと・学んだことの評価」からの脱却を目指して」セッション A-3「話し合いが変わる！：評価を通じて目指すよりよい合意形成」（東京大学駒場キャンパス）、2016.1.10
- (3) （森篤嗣・山口昌也・俵山雄司と共同）出版記念シンポジウム「『評価』を持って街に出よう—「教えたこと・学んだことの評価」からの脱却を目指して」セッション B-1「話し合いを分析する：FishWatchr による評価の集約と可視化」（東京大学駒場キャンパス）、2016.1.10
- (4) 北海道日本語教育ネットワーク主催「会話における「やさしい日本語」を見つめ直す：何をし、何を学習し、どう評価されているのか」（エルプラザ 4 階大研修室（北海道札幌市））、2015.11.1
- (5) 横浜市金沢区お客様満足度向上プロジェクト・こども家庭支援課共催「横浜市金沢区職員研修「やさしい日本語による窓口対応研修」」（横浜市金沢区役所）、2015.10.2, 12.11
- (6) アクラス日本語教育研究所主催「アクラス研修会<著者との対話>『日本語教育 学のデザイン』（アクラス日本語教育研究所）、2015.10.22
- (7) 日本語教育学会主催「日本語教育学会 2015 年度夏季集中研修ワークショップ「教える・学ぶ・考える」—“評価価値観”“会話力”をとらえ直す—「話し合い」を評価する—よりよい合意形成のために」（東京大学駒場キャンパス）、2015.8.8, 8.9
- (8) （齋藤美幸と共同）東京都主催「平成 27 年度東京都防災（語学）ボランティア研修「やさしい日本語技術」研修基礎編「『やさしい日本語』とは？」（インターカルト日本語学校）、2015.6.27, 11.21

研究プロジェクト

- (1) 平成 26 年度～28 年度文部科学省科学研究費（若手(B)）「地方自治体の窓口における外国人対応支援のための研究」（研究代表者）
- (2) 平成 25 年度～27 年度文部科学省科学研究費（基盤研究（B））「言語運用に対する個人の評価価値観の形成とその変容に関する研究」（研究代表者：宇佐美洋）（研究分担者）
- (3) 平成 25 年度～27 年度文部科学省科学研究費（基盤研究（C））「日本語学習者の母語場面・接触場面を対象とした対話コーパスの構築と分析」（研究代表者：澤田浩子）（研究分担者）

- (4) 平成 25 年度～27 年度文部科学省科学研究費（基盤研究（C））「大学留学生と日本人学生の協同学習による対話能力育成カリキュラムの開発」（研究代表者：森本郁代）（研究分担者）
- (5) 平成 25 年度～28 年度文部科学省科学研究費（基盤研究（A））「やさしい日本語を用いた言語的少数者に対する言語保障の枠組み策定のための総合的研究」（研究代表者：庵功雄）（研究分担者）
- (6) 平成 27～29 年度文部科学省科学研究費（挑戦的萌芽研究）「「私らしく」産出できるようになるためのウェブ型日本語教材の開発」（研究代表者：小林ミナ）（連携研究者）

渡部 由紀

報告

- (1) 「デルファイ法による大学運営者サイドから見た大学国際化指標体系の構築」『デルファイ法による大学国際化指標体系の構築研究』、2014 年度 明治大学新領域創生型研究報告書、明治大学、pp.5-26、2015.5
- (2) （新田功と共著）「学生を対象とした大学国際化指標構築のためのデルファイ法調査」
- (3) 『デルファイ法による大学国際化指標体系の構築研究』、2014 年度 明治大学新領域創生型研究報告書、明治大学、pp.27-59、2015.5
- (4) （太田浩・新田功・野田綾香・金性希・武田巧と共著）「大学国際化指標体系の構築」『デルファイ法による大学国際化指標体系の構築研究』、2014 年度 明治大学新領域創生型研究報告書、明治大学、pp.60-72、2015.5
- (5) 「留学生 30 万人計画の概要：留学生受け入れ方策と施策一覧」『留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015 年度文部科学省先導的・大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.10-19、2016.3
- (6) （新見有紀子と共著）「フィリピンにおける大学進学、留学プロセスの分析」『留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015 年度文部科学省先導的・大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.123-135、2016.3
- (7) （新見有紀子と共著）「インドネシアにおける大学進学、留学プロセスの分析」『留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究』、2015 年度文部科学省先導的・大学改革推進委託事業研究報告書、公益財団法人アジア学生文化協会、pp.136-147、2016.3

学会発表

- (1) （新見有紀子・太田浩・芦沢真五・黒田一雄と共同発表）「海外留学の長期的なインパクト：キャリア、能力・スキル、意識・行動、人生の満足度」『日本比較教育学会第 51 回大会発表要旨集録』 p. 49、日本比較教育学会、宇都宮大学、2015. 6
- (2) (Co-presented with Yukiko Shimmi & Hiroko Akiba) “Exploring Long-term Impact of Japanese Study Abroad Experience: Undergraduate and Graduate Education,”

6. 教員活動報告

Comparative & International Education Society Annual Conference, Vancouver, Canada, March, 2016.

研究プロジェクト

- (1) 平成 25 年度～27 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））「グローバル人材育成と留学の長期的インパクトに関する国際比較研究」（研究代表者：横田雅弘）（研究分担者）
- (2) 平成 27 年度文部科学省先導的・大学の改革推進経費による委託研究「留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究」（研究代表者：白石勝巳）（研究分担者）

教員の海外渡航

阿部 仁

- (1) 2015.5.23~5.29 アメリカ (ボストン)
NAFSA (Association of International Educators) 年次総会への参加
- (2) 2015.8.23~9.11 アメリカ (カリフォルニア、テキサス、フィラデルフィア、ボストン、ミシガン、ミネソタ)
 1. 海外語学留学調査派遣事業によるカリフォルニア大学アーバイン校現地視察
 2. 同 テキサス大学オースティン校における現地視察
 3. 同 ペンシルバニア大学における現地視察
 4. 同 ボストン大学における現地視察
 5. 同 ウェスタンミシガン大学における現地視察
 6. ミネソタ大学 English Language Program の概要調査
- (3) 2015.9.14~9.19 スコットランド (グラスゴー)
EAIE (European Association for International Educators)年次総会への参加
- (4) 2015.11.13~11.16 インドネシア (ジャカルタ、スラバヤ)
JASSO 留学フェアへの参加
- (5) 2016.1.27~1.30 香港
香港中文大学および香港日系企業の訪問および短期海外研修プログラムの新規開発に向けた打ち合わせ
- (6) 2016.2.29~3.11 スペイン (マドリッド、バルセロナ)
 1. 短期海外研修 (スペイン企業派遣) 視察
 2. 来年度の短期海外研修プログラム運営についてベルヘ社担当者との意見交換
 3. 在マドリッド日本大使館との意見交換
 4. マドリッド・コンプルテンセ大学訪問、協定更新に関する打ち合わせ
 5. バルセロナ自治大学訪問、協定締結に関する打ち合わせ

庵 功雄

- (1) 2015.5.8~5.10 香港
香港中文大学における国際シンポジウムで口頭発表
- (2) 2015.9.8~9.15 台湾 (台北)
東呉大学における集中講義
- (3) 2015.10.22~10.26 中国 (北京)
北京日本学研究中心におけるシンポジウムで講演

6. 教員活動報告

- (4) 2015.11.27～11.29 台湾（台北）
東呉大学における国際シンポジウムで講演
- (5) 2016.3.2～3.16 台湾（台北）
東呉大学における教育実習引率および同大学における集中講義

太田 浩

- (1) 2015.4.18～4.20 中国（上海）
日本大学連合学力試験視察、参加大学との意見交換と情報収集
- (2) 2015.5.24～5.31 アメリカ（ボストン）
NAFSA 年次総会に出席、学生交流協定についての打ち合わせ、日本の高等教育国際化の動向について発表、情報収集
- (3) 2015.8.14～8.31 ドイツ（ケルン）
ケルン大学にて、夏季集中講座“Intercultural Communication”の講師を担当
- (4) 2015.9.14～9.21 イギリス（グラスゴー）
EAIE 年次総会に出席し、大学国際化及びグローバル・コンピテンスの評価指標や分析手法、最新動向についての情報収集と聞き取り調査
- (5) 2015.11.1～11.4 韓国（ソウル）
「持続可能な国際教育推進のための研究コンソーシアム」主催の研修プログラム（韓国の大学国際化とグローバルキャンパス構築）の運営と引率
- (6) 2016.1.19～1.21 韓国（チェジュ島）
KAIE 年次総会に出席し、日本の海外留学促進政策に関して講演。韓国の大学における国際化評価の現状とニーズについて聞き取り調査
- (7) 2016.2.20～2.26 カナダ（モントリオール）
AIEA 年次総会に出席し、大学国際化と知識外交に関する最新動向について情報収集と聞き取り調査
- (8) 2016.2.27～3.6 オーストラリア（メルボルン）
APAIE 年次総会に出席し、海外留学の長期的インパクトに関する調査結果について発表、オーストラリア大学協会のシンポジウムで日本の海外留学動向について発表

奇 春花

- (1) 2015.9.11～9.14 韓国（釜山、ソウル）
JASSO 留学フェア参加
- (2) 2015.10.30～11.2 ベトナム（ハノイ、ホーチミン）
JASSO 留学フェア参加

- (3) 2016.1.27～1.30 香港
香港中文大学との打ち合わせ
- (4) 2016.2.29～3.2 中国（北京）
北京大学短期海外研修視察

五味 政信

- (1) 2015.5.11～5.14 ベトナム（ハノイ）
公益財団法人ヒロセ国際奨学財団奨学生選考面接
- (2) 2015.8.16～8.25 中国（香港）
香港大学 SPACE における集中講義
- (3) 2015.11.21～11.24 ベトナム（ハノイ）
大学間学生交流支援でハノイ貿易大学を訪問
- (4) 2016.3.10～3.15 ベトナム（ホーチミン市）
海外教育実習視察のためホーチミン市師範大学を訪問
- (5) 2016.3.23～3.28 ベトナム（ハノイ、ダナン）
越日辞書改訂版に関する調査のためハノイ、ダナンを訪問

新見 有紀子

- (1) 2014.7.17～7.19 台湾（高雄、台北）
JASSO 留学フェア参加
- (2) 2016.2.8～2.13 フィリピン（マニラ）・インドネシア（ジャカルタ）
文部科学省先導的の大学改革推進経費による委託研究「留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究」の現地調査
- (3) 2016.2.27～3.2 オーストラリア（メルボルン）
短期海外研修（モナッシュ大学）視察
- (4) 2015.3.6～3.13 カナダ（バンクーバー）
Comparative and International Education Society Annual Conference への出席と研究発表

西谷 まり

- (1) 2015.8.5～9.14 ベトナム（ホーチミン）
科学研究費補助金のための調査研究のための日本企業訪問
- (2) 2015.10.28～11.3 ベトナム（ホーチミン）
JICA の案件化調査プログラム
- (3) 2015.11.18～11.23 ベトナム（ホーチミン）

6. 教員活動報告

科学研究費補助金のための調査研究のために和僑会世界大会出席

- (4) 2015.12.23～12.27 カンボジア (プノンペン)
言語社会研究科第二部門海外教育実習打ち合わせのためカンボジアメコン大学訪問
- (5) 2015.12.27～2016.1.1 ベトナム (ホーチミン)
科学研究費補助金のための調査研究
- (6) 2016.3.3～3.5、2016.3.9～3.17 ベトナム (ホーチミン)
言語社会研究科海外教育実習指導及び科学研究費補助金のための調査研究
- (7) 2016.3.6～3.8 カンボジア (プノンペン)
カンボジアメコン大学における日本語教育サポート

柳田 直美

- (1) 2015.7.25～8.1 ベルギー (アントワープ)
14th International Pragmatics Conference での研究発表(於: University of Antwerp)
- (2) 2016.3.5～3.12 ベトナム (ホーチミン)
ホーチミン市師範大学、ドンズー日本語学校
言語社会研究科第二部門海外日本語教育実習サポート及び打ち合わせ

渡部 由紀

- (1) 2015.9.15～9.18
EAIE 年次総会に参加
- (2) 2015.12.12～12.15 タイ (バンコク)
JASSO 留学フェアへの参加と協定校タマサート大学訪問
- (3) 2016.2.8～2.13 フィリピン (マニラ)・インドネシア (ジャカルタ)
文部科学省先導的の大学改革推進経費による委託研究「留学生受け入れ支援方策の検討に関する調査研究」の現地調査
- (4) 2015.2.29～3.5 韓国 (ソウル)
西江大学短期海外研修引率
- (5) 2015.3.6～3.13 カナダ (バンクーバー)
Comparative and International Education Society Annual Conference への出席と研究発表